

下総境の生活史

茨城県
境町史

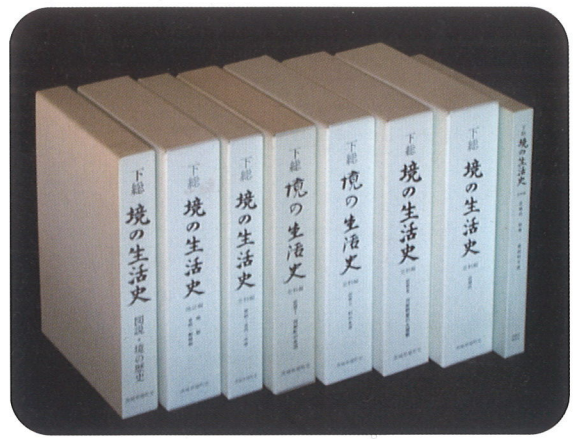
図説・境の歴史

史料編 原始・古代・中世
近世Ⅰ 河岸町的生活
近世Ⅱ 村の生活
近世Ⅲ 河岸問屋の大福帳
近現代
近現代別巻 長田村々是

地誌編 地誌/自然・動植物(2巻組)
町史研究 下総さかい 創刊号~第10号
町史だより ふるさとの歴史

監修 木村 礎

編纂 長命 豊、小林三郎、原田信男、川名 登、池田宏樹、神崎彰利、椎名 仁、菅谷 務、小野寺 淳、木塚治雄、松澤和彦 他



本館の収蔵資料について 近世・近代に東北地方の物資を江戸へと輸送した鬼怒川-江戸川水運の中継地であり、日光東往還の宿場であった境町には、河岸問屋小松原家の1万4000点を超える古文書をはじめ、多くの近世・近代文書が遺されています。また、水が豊富な土地であったことから遺跡も多く、たくさんの遺物が出土しています。本館に収蔵されたこれら古文書類や考古資料は、河川水運史、村落景観学、考古学などの研究に活用され、本館は大学・博物館などの研究機関・研究者に利用されています。これら本館収蔵資料の利用方法については、事前に電話にて問い合わせください。

利用案内 入館料は無料です

見学時間 午前9時~午後4時30分 (入館は午後4時まで)

休館日

- ①月曜日
- ②祝日及び振替休日(ただし、土・日は開館)
- ③日・月を含む連休のある週は連休最終日の翌日
- ④年末年始(12/28~1/4)

休館日の例

日	月	火	水	木	金	土	日	休
3	4	5	6	7	8	9		開
開	休	休	休	休	開	開		館
館	館	館	館	館	館	館	館	館
①	②	③	②	②	②	②	②	②
による	による	による	による	による	による	による	による	による

交通

JR宇都宮線 古河駅
東武伊勢崎線(日光線) 東武動物公園駅
東武野田線 川間駅

朝日バス 境車庫行にて(境町行は不可) 約40分
終点 境車庫 下車 徒歩15分

自動車利用

国道4号バイパス 塚崎交差点(境町)を降りて 4.5キロ 約10分
菱沼交差点(幸手市)より 7.5キロ 約15分
首都圏中央連絡自動車道 境古河インター(境町)を降りて 1.5キロ 約5分



下小橋古道

SAKAI-HISTORICAL FOLKLORE MUSEUM

〒306-0431

茨城県猿島郡境町大字西泉田1326-1

TEL 0280-81-3353 FAX 0280-81-3354



境町歴史民俗資料館

馬型埴輪 (古墳時代)



考古 古来、富水の地であった境には、縄文・古墳時代を中心に多くの遺跡があります。それら町内の遺跡より出土した、町指定文化財の弥生壺や、祭祀に使用したと思われる舟形壺、石斧・石皿などの考古資料を展示しています。町指定文化財である馬型埴輪は、当町の古代文化を代表する遺物です。この埴輪は他館への貸出しも多く、本館のシンボリック的存在です。

民俗 水辺の町を象徴する漁労用具や、機械化前の農業用具、信仰に関わる道具類など、人々の暮らしに関する、今日失われつつあるさまざまな道具・用具類を展示しています。



弥生壺



異形縄文土器



絵馬 董王の図

逆修結衆板碑 (室町時代)



古代・中世 将門の乱や古代猿島郡衙 (推定)、稲穂の別当の坊など、今日に残る出来事をトピック的に図版で紹介。また、町域には多くの板碑 (青石塔婆) が残されており、鎌倉から戦国に至る各時代の代表的な板碑を展示しています。



猿島茶に関する展示

近代・現代 地場産業として発展した猿島茶の生産用具や、消防用具、商品宣伝用看板などの歴史器物、また、明治43年の大水や、境一関宿間の橋の変遷などの写真資料を展示しています。

近世 河岸の町であった境町は、江戸と奥羽・北関東を結ぶ物資の一大集散地であり、日光東往還の宿場町でもありました。水運・河岸と宿場の姿や村の騒動などを図版で紹介するとともに、高瀬船で使用した諸用具、村絵図などを展示しています。



河川水運に関する展示